

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
宇陀市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	市内の小学校6校、中学校4校で、それぞれの学校・地域の課題に沿って特色ある活動をしているが、地域コーディネーターを教職員が兼ねていることもあり、一定の活動しかできていない。	実際に活動いただいているボランティアの方に地域コーディネーターを担っていたけよう声掛けをしている。	コミュニティ・スクール導入の働きかけと並行して、引き続き地域の方々を選出できるよう声掛け等を行う。	地域の方が地域コーディネーターを務めてくださることにより、より地域の特色を活かした活動ができる。また、教職員の負担が減る。	地域の方が地域コーディネーターを務めている数	2	校	4	5	コミュニティ・スクール導入に向けて本格的に動き出した年度であること、ボランティアの方や地域の方へ声掛けを行っていただいたことにより、本年度の目標値を上回る結果となった。しかし、教職員が担っている学校も未だ半数あり、学校によって活動の種類に差が出始めている。子どもたちのニーズに合った活動を行うためには地域の方が担う地域コーディネーターの存在が必要不可欠であり、さらなる人材の発掘のためには声掛けだけでは不十分である。 引き続きボランティアの方への声掛けを行うと共に、課題点や現状の把握に努め、実情に合った方法で地域コーディネーターの発掘及び育成を図る。